

質問コーナー

**Q: がん治療後のB型肝炎ウイルス
再活性化について**

B型肝炎ウイルス感染

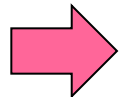
従来の考え方

垂直感染：母胎、出産時の感染

児の免疫が未完成なので、B型肝炎ウイルス感染が慢性化する

水平感染：(出産後および)成人の感染

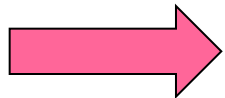
B型肝炎ウイルス感染が生じても排除される



ところがこの考え方には合わない臨床例が続出した

例えば……

- **成人で感染した場合でもウイルスが排除されず慢性化してしまう例が続出！**
- **B型肝炎ウイルスの抗体ができているドナーから肝移植を受けた患者さんがB型肝炎になった！**
- **B型肝炎ウイルスの抗体ができている患者さんの肝臓からB型肝炎ウイルスの遺伝子が検出された！**



さまざまな臨床データや、検査法の進歩により従来の考え方がくつつがえいつつあります！

そして今回の御質問・・・

- 悪性リンパ腫でITZキシマブという特殊な治療を行った患者さんが劇症肝炎を起こしてしまった
- B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎と判明したが、感染を起こすような処置は受けていなかった
- 治療前の採血でB型肝炎ウイルスの抗体を持っていたことが判明した



B型肝炎ウイルスの「再活性化」

対策と問題点

- **化学療法や免疫抑制療法を行う場合には、B型肝炎ウイルスマーカーを事前に調べる。**
- **B型肝炎ウイルスマーカーが陽性であれば、月1回B型肝炎ウイルスのDNA検査をする**
- **どの程度の強さの治療でB型肝炎ウイルスの「再活性化」が起きるかは現在のところ未知数で臨床研究がすすめられているところです**

免疫抑制の程度とB型肝炎の再活性化リスク

